



議会だより

なよろ



2014 .1 .1 発行

31
No.

NPO 法人民族歌舞団「こぶし座」の公演。豊作、商売繁盛を願っての「えびす舞」や「獅子舞」などが情緒豊かに披露されました。



第4回定例会

定例会で決まったこと・議会日誌	2
新年のごあいさつ・議員協議会	3
一般質問に 13 人	4 ~ 10
可決された意見書	10
各委員会活動報告	11
きぼう・編集後記	12

一般会計補正予算

3億4488万7千円の追加を可決

平成25年第4回定例会は11月29日に開会し、12月13日までの15日間を会期とし、20件の議案について審議しました。会議初日には加藤剛土市長より来年4月の任期満了に伴う市長選挙への出馬表明があり、将来を見据えた市政運営などに13人が一般質問に立ちました。議案審議では条例の改正、制定案が各1件指定管理者の指定案7件、補正予算案8件、その他3件、意見書案3件・報告1件を審議し、いずれも提案どおり可決されました。

主な条例

名寄市青少年問題協議会条例の一部改正について
 地方青少年問題協議会法の一部改正により、本条例の一部を改正し、委員構成の規定を廃止するものです。
 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
 来年4月から消費税率が8%に引き上げられることに伴い、市の施設等使用料にかかわる54件の条例の一部を改正するものです。

主な補正予算

介護基盤緊急整備等特別対策事業
 認知症対応型デイサービス事業所（定員10名）開設に対する補助金として1080万円を追加しました。
 生活保護事業
 生活保護世帯の医療扶助の増加に伴い、5715万9千円を追加しました。
 林業・木材産業構造改革事業
 上川北部森林組合が実施するチップ加工施設における機械類の整備に対する補助金として1億3000万円を追加しました。



期待される今年の除排雪作業

商店街等活性化関連補助
 中心市街地近代化事業として申請があった店舗改修費用の一部助成について、名寄市中小企業振興条例に基づき53万円を追加しました。
 （名寄、風連地区各1件）
 市道除雪・排雪対策事業
 車道の幅を確保するため、本年度から幹線道路において試験的に実施する積上げ除雪などに要する費用2647万1千円を追加しました。
 給食センター維持管理事業
 各学校に給食を配送する車両1台を更新するため、584万7千円を追加しました。

議会日誌

10/3 唐津市議会視察来訪
 10/4 長岡市議会視察来訪
 10/7 経済建設常任委員会
 10/8 ピヤシリ大学と正副議長の懇談会
 10/9 標茶町議会視察来訪
 10/10 議会運営委員会
 10/15 議会報特別委員会

10/16 道北支部議長会
 10/29 八街市議会視察来訪
 10/31 全国高速自動車道市議会協議会（東京都）
 11/10 東京なよろ会総会
 11/11 議会運営委員会
 11/13 経済建設常任委員会
 11/14 議員研修会（旭川市）
 11/21 議会報特別委員会

11/22 市民福祉常任委員会
 11/25 各会派代表者会議
 11/27 議会運営委員会
 11/28 総務文教常任委員会
 11/29 第4回定例会開会
 12/11 議会運営委員会
 12/13 議員協議会
 12/13 第4回定例会閉会
 12/18 議会報特別委員会



新年のごあいさつ

名寄市議会議長 黒井 徹

新年明けまして、おめでとございます。
心からお慶び申し上げます。



昨冬は、大雪で大変ご苦労されたことを思い出しますが、今年も穏やかで明るい年になることを市民の皆様と共に祈願致します。

昨年は、駅前交流プラザ「よろーな」のオープン、仮称「市民ホール」の着工がなされましたが、駐車場の確保、工事入札の不落問題など、理事者と議会の対応で市民に丁寧に説明しなければならぬ課題が多くあった一年でした。

議会としては、報告会で一定の理解を得たものと思っておりますが、市民感覚で常に議会改革が必要と考えています。

これまで毎年実施していた常任委員会の視察は、任期最終年には行わないことと、「議会だより」も常に読みやすく、解りやすく改善を重ねています。現在は次期改選に向けて、議員定数、長期欠席議員に対する報酬減額の特例条例を、議会運営委員会で協議するように諮問をしております。本年は4月に市長選挙が実施されますが、併せて市議2名の欠員についても補欠選挙が行われます。その時期までしっかりと結論を出せるように協議をしたいと思います。

国の景気は上昇気運であります。地方には未だ到達していない状況で、消費税の増税がどのように影響していくのか心配ではありますが、市民の皆様の健康とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

議員協議会

消費税増税に伴う使用料等の見直し

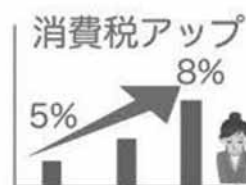
定例会最終日の13日に開催された議員協議会では、次の3件について説明が行われました。

新名寄市総合計画後期実施計画の見直しでは、10月9日の推進市民委員会を経て、第2期ローリング調整後の事業数を193件(うち平成25年度新規事業は15件)とし、平成24年度から5年間の全体事業費を420億1,718万6千円としました。主な新規事業として台湾との交流事業の推進、福祉灯油支援、防犯灯のLED化、市民会館の撤去及び緑地化、西小学校増築事業などが計画されています。



平成26年度名寄市中期財政計画の見直しでは、消費税引き上げに伴う経済対策の詳細が不透明な段階ですが、総合計画実現への財源の確保がなされています。歳入では人口減などで市税や地方交付税の減額を見込み、歳出では行財政改革、独自削減などの影響も考慮されています。

12月11日に追加提案された「社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」は、消費税増税に伴う市の施設使用料等の改正にかかわる54件の市条例の一部改正を行うものです。本来、条例改正にあたっては所管する常任委員会に付託して審議されるのですが、今回については国政レベルの法改正であり、今後、市民周知にも時間が必要であるため早期に結審することが望まれるとの判断から、全議員で説明を受けたものです。



一般質問



婚活支援で少子化対策を

公明 高橋 伸 典 議員

結婚・妊娠・出産支援を

問 厚労省は、結婚・出産・子育てに関する意識調査で、

いずれ結婚をしようと考えている若者は9割。異性の友人や交際相手もいないと答えた人は未婚男性の約6割、女性の約5割に上り、自治体による婚活支援で少子化対策を。

答 当市の平成22年度合計

特殊出生率は1・59で、全国平均1・38、全道平均1・41を上回る。本年3月に国立社会保障人口問題研究所が将来人口推計で、年少人口は本年11月末3612人から2025年には3111人まで減少すると推計され、国の「結婚・妊娠・出産支援の全国展開」と結婚支援事業を調査し、動向を注視。民間活力による婚活イベントの開催を重要視し、2月の雪質日本一フェスティバルで、商工会議所青年部が婚活イベントを開催する。行政がどこまで踏み

込むべきかも含め、支援策を前向きに検討。

雑誌スポンサー制度

問 行財政改革のため、図書館の雑誌購入費を企業広告でまかなう雑誌スポンサー制度を。

答 制度導入の判断は、図書資料購入予算の増加が見込まれず、図書充実と現行予算の有効活用との側面から、他市町の調査と取扱実施要綱の内容の調査と取扱いなどを検討する。

他の質問

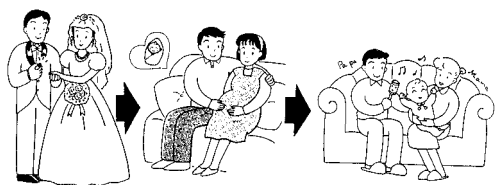
・カラー

バリアフリー対策

トムテク

化の森の

移管。



婚活・結婚・妊娠・出産へ



名寄版PDCAを!!

市民連合・凜風会 佐藤 靖 議員

予算編成と観光行政

問 26年度当初予算は骨格

編成となるが、市長訓令及び業務連絡で求めているPDCAサイクルは確立したのか。名寄版PDCAとし、全職員が共有する必要があるのではないか。また、観光行政においても、市長がトップセールスマンとして国内外に売り込み、地域の活性化に結びつけていることは理解するが、市長の思いが全職員、市民の共通認識となっているのか。対話が不足していないか。

答 今回の訓令等では、前例

を踏襲せず、真の効率化を図るため、PDCAサイクルとスクラップ&ビルドを求めたが、名寄手法とはなっているものではない。早急に徹底させたい。観光についても共通認識のための対話を進めたい。問 看護師寮、大学売店は必要やスキルアップのための寮

交流が必要ではないか。また、日本最北の公立四年制大学である名寄市立大学内に学生ニーズに応える売店、さらには地域と活用できる商店が必要ではないか。

答 看護師寮は院内の検討

会議でも必要と考え、検討しているし、人事交流も今後実施に向けて努力したい。学内売店の必要性は十分認識している。学生の利便性、福利厚生上からも十分な対応を図りたい。



財政課による予算編成作業

一般質問



加藤市政次期の展望は

市政クラブ 東 千春 議員

加藤市政評価と展望は

問 民間的発想による市政運営と共に財政健全化も進めたが、その評価と展望は。

答 民間出身の視点からトップセールスと人脈を活かし、情報発信を行った。次期は総合計画の推進と、市民と協働による明るく元気なまちづくりを目指したい。具体的には医療の充実や大学整備、国の安全に欠かせない駐屯地の堅持。恵まれた自然を活かし一次産業の振興や市民ホール整備など文化振興を図りたい。

充実した市民ホールを

問 ソフト事業に対する基本的な考えと予算について。

ホール、小ホールの機材について、専門人員の配置や文化振興条例の制定などの考えは。
答 ホールの格付け評価は3年で決まると言われる。質の高い企画を提供すると共に団体等の自主企画を応援する。



建設が進む(仮称)市民ホール

財源は基金活用とさまざまな助成金の有効利用を進める。

機材の導入は選択の議論を行っているが、安全性、今後の更新を見据え設計する。多目的ホールの音響、照明の充実は難しい。職員配置ではH26年は準備室、H27年は文化振興室の設置を考える。芸術監督の配置の助言をいただき、必要性を認識するが、来年度の方角性は決まっていない。新市民ホール設置条例で劇場法に対応したい。文化振興条例は年度内に文案をつくる。
他の質問・産業高校と地域産業



市民と一体のまちづくり

市民連合・凜風会 植松 正一 議員

新年度の重点施策は

問 平成26年度は農政の大転換期の年、43年間続いた農政の根幹をなしてきた生産調整を5年後に減反廃止。また変動補助金は来年度廃止と生産者の意見を無視し一か月の議論で結論を出し、今後、農業所得に対して影響が深刻と思うが、予算編成での施策については。

答 平成26年度から経営所得安定対策事業の制度がどう変わるのか、早めの情報収集と今後の経緯を見極め、JA(農協)など関係機関団体と連携し対応する。また、国の主要施策で、市が策定する「人・農地プラン」の位置付けと充実を図る。耕作放棄地や遊休農地の把握と有効な保全対策を検討、食のモデル事業では市民に啓蒙活動、消費拡大に取り組んでいく。

問 生産者が望む市場再開を
名寄魚菜卸売市場の自



早急な対応が待たれる市場施設

己破産による対応、対策で買受人の方々と意見交換、協議されているが、現段階での状況は。

答 市場再開を基本に努力し、北海道市場協会の会員である複数の業者と交渉を進めてきたが、市場運営は条件が整わず困難と判断した。現在は市内買受人の方との協議が終盤に近づいている状況であり、生産者の来年の作付に影響が出ないよう早期に結論を出す。
他の質問・木質バイオマス
の利活用の方策と進捗状況について

一般質問



地域の未来を見ずえて

市政クラブ 山田 典 幸 議員

米政策転換に伴う影響は

問 減反廃止に伴う補助金の見直しによる当市への影響は。また、今後の農業振興についての考え方は。

答 米の直接支払交付金が次年度半額になると、約2億円の交付金が減少となり、さらに廃止となれば農家にとって大きな影響が考えられる。今後、国の動向に注視しつつ、関係機関・団体と連携し、生産者の意見はもとより、特に若い担い手との話し合いを持ちながら、今後の地域農業の方向性、あるべき姿を改めて検討し、農業振興に取り組んでいきたい。

教育行政について

問 全国学力・学習状況調査の結果の公表についての当市としての考え方は。

答 調査結果の公表に関しては、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、教育上の効

果や影響等に十分配慮することが重要であることを踏まえ、

当市としては、学校の序列化や過度な競争を招く恐れや、小規模校において個人が特定される懸念などから、学校ごとの平均正答率の公表は行わない予定である。今後、各学校には保護者に対し、子ども

の学力と学習・生活状況について、これまで以上に丁寧かつ十分に説明し、家庭と一層連携して改善に向けて取り組むようをお願いをしていく。

他の質問

・ピヤシリ
スキー場の
運営につい



担い手が希望の持てる農業施策を

公平・公正な市政運営

問 クリーンな市政運営を確保し、市民の信頼に心える

ためにも、内部職員からの通報を処理する仕組みを整える公益目的通報並びに不当要求の対応を制度化する条例を制定すべきだが見解を伺う。

答 現在、公益目的通報については、平成16年に制定された公益通報者保護法に基づき、職員の職務にかかる法令遵守の保持を適切に処理し、公益通報者の保護及び職員の倫理観の高揚を図り、行政運営における公正の確保と透明性の向上を目的として、「名寄市公益通報に関する規則」（仮称）の制定に向けて準備を進めており、平成26年4月からの運用を目指している。

市、初の共助の防災訓練

問 旭栄区と高見区による共同防災訓練が行われたが、その成果を伺う。

答 複数町内会主催による



共に助け合う実動訓練

市政クラブ 佐々木 寿 議員

初の実動災害訓練は、訓練を通じて防災意識の高まりや実

動訓練による課題の把握と対策の検討など、大きな成果があり、他町内会への拡大が期待される。市として、この取り組みに地域連絡協議会の活動交付金の支援を継続し、協議会代表者会議等との情報交換などを通じ、他の地域協議会への情報提供、拡大も目指していく。

他の質問・Uターン情報の発信、イベント屋台の安全管理・介護人材の育成



共に助け合う実動訓練

一般質問



街の元気とリサイクル

市政クラブ 駒津喜一 議員

小型家電回収ボックス

問 現在、埋め立て処理されている家電法指定品目以外の小型家電には、貴重なレアメタル（希少金属）等の資源が含まれ注目されている。市民に処理負担がかからない回収ボックスを設置し、ごみ減量化に向け市が回収を実施すべきでは。

答 今年、国は小型家電リサイクル法の施行により、特にリサイクルすべき品目としている。当市も現在の埋め立て最終処分場の延命対策としても有効と考え、特定対象28品目とアダプター等付属品を含め、早急に取り組みたい。

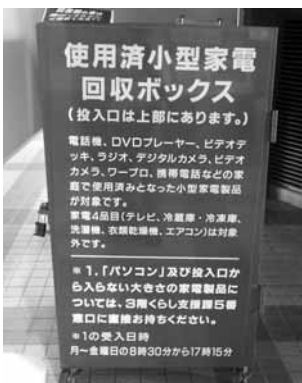
企業誘致を積極的に

問 地域経済の活性化、人口減少傾向の対策としても災害が少なく、地域経済の活性化と雇用の拡大が期待できる企業誘致を積極的に進めるべきでは。

答 平成23年に近隣三市町

による地域産業活性化協議会を設置し、企業誘致に関わる基本計画を策定して取り組み推移しているが、実績は無く計画期間は28年度末で終了する。名寄市独自の企業誘致として今後は、企業立地にかかわる助成内容等の検討をはじめ企業立地促進条例の整備も視野に、産業の振興や雇用の拡大が図られるように市政の重要課題として取り組んでいきたい。

他の質問・中小企業振興条例の見直し・雇用支援施策として新卒就労者に助成金を



小型家電回収ボックスの設置を

快適で安全な環境を

問 水・大気の安全問題と旧焼却施設解体の時期及び炭化センターの使用の見通しについて

答 水質検査は天塩川で10地点年2回、名寄川では流入3河川を含めた8地点で調査。天塩川では基準を満たしているが、名寄川では7〜9月に大腸菌群が基準を超過、原因は流域土壌、河床堆積物など自然界由来によるものと見られる。浄水場では毎日検査をし、薬品により処理をして安全な給水をしている。大気調査は市ではしておらず、一企業の定期報告を受けている。旧焼却施設解体については、費用の面で国庫補助が必要であるが、具体的計画がないことから解体にいたらない。炭化センターは、平成30年以降も継続運転を想定。



安心して暮らせるまち

市民連合・凜風会 竹中憲之 議員

失の分析と看護体制が7対1の変更に伴う変化及び災害時等相互支援協定にかかわる院内整備について

答 電子カルテシステムの不具合などで多額の特別損失が発生、看護体制変更で直ちに全体の改善がされるものではないが、助手・補助等の採用によりベットサイドの対応時間に使えと理解。災害支援の院内整備は、新精神科棟の一階、三階、研修室等に医療ガスユニット、非常電源設備を整備する。

問 市立総合病院の上期損



解体が求められている旧焼却施設

一般質問



ひまわり観光客が減少

市政クラブ 川口京二議員

ひまわり観光

問 現状と課題、そして今後の取り組みについて

答 平成23年度から観光入込客が約5千人ずつ減少してきている。6年間の連作により地力が弱まっている事に加えて、今年度は雑草等に管理が行き届かない状態となり、非常に厳しい状態となった。今後は、ひまわり部会事業として名寄振興公社と協議していく。作付や地力の維持に関しては、農業振興センターの技術指導も受け、市民はもとより多くの観光客の皆様楽しんでいただける ひまわり畑観光 を行います。

ご当地グルメの成果は

問 煮込みジンギスカンの成果と課題、今後の取り組みは。

答 食べ方に注目し名寄市の知名度向上・地域おこしを図るため、全国にPRしている。今後も「艦隊」としてさ



ひまわりが咲き誇るサンピラーパーク

まざまなイベントに出店してさらなる知名度向上を図る他、市民に対し理解をしていただくために、「煮込みジンギスカン」用の大型の鍋を広く貸し出すなど、周知・普及に努めていく。また、「ご当地グルメは地場産品ではないか?」「羊もいないのになぜ?」という意見もあるが、野菜などは名寄産を使用しており、肉は市内の精肉店からまんべんなく仕入れをしている。
他の質問・路上駐車現状と対策・市立図書館の駐車場、通路の整備



地場産品の販路拡大は

新緑風会 山口祐司議員

海外ビジネスの可能性

問 名寄市はロシア、カナダの国々との人的交流が行われているが、これらの国々とのビジネス展望は。

答 道北6市（旭川市・名寄市・士別市・留萌市・紋別市・稚内市）が連携し、北海道産品の販路開拓、拡大を図り、稚内・コルサコフ航路による貨物輸送の需要喚起（かんき）を目指すべく、ユジノサハリンスク市内の商業施設で産品の紹介、販売を行う「道北物産展2013」が開催され、名寄の特産6品目を完売した。今後も継続して開催することが発表され、今後のビジネスチャンスと捉え、経済団体と連携を図り、検討していく。

課外活動の指導者は

問 総合計画の青少年健全育成事業では、学校外活動の推進をうたっているが、少年団など学校授業外の指導者確保の状況は。



地場産品輸出の可能性は

答 少子化に伴い年々少年団員数が減少し、また、指導者の高齢化もあり指導員の確保が難しくなっているのが現状である。質の高い指導資格として公認指導員等の資格によつては長時間の講習を受けなければならず、現実的には難しい。今後も市内の各体育協会、地域スポーツクラブボボ及び競技団体等と連携を図りながら指導者育成、確保、充実に努める。
他の質問・農業政策の大転換

一般質問



子供の居場所確保を

市民連合・凜風会 奥村英俊 議員

東地区の要望に対して

問 東地区で開催された「まちづくり懇談会」で要望のあった「商店の outlet」について、中小企業振興条例の各制度の情報発信と合わせて直接営業戦略室が市民の要望に動くべきと考えるが、いかがか。「学童保育の整備」について、子供の放課後の居場所確保という観点で、民間への働きかけ、自主運営の手助け、空き家を活用したミニ児童館の設置はどうか。また、地域の大きな課題でもあるので、地域連絡協議会に働きかけ、補助金・交付金の増額も含めて行政との連携により運営してもらうなど、市長の考えを伺う。

答 商店の不足は深刻な問題と認識している。現在、営業戦略室が制度の所管となっているが、総合的なアドバイザーが提供できるよう相談窓口が確立できるよう受付の流れを変更すべく検討。子供の

放課後の居場所の確保については創造的議論を始める時期と考えている。学童保育のあり方については、大きな地域の課題であり、具体的な提案をふまえて、既存の学童保育所や地域の方々のかかわり合いも考慮し、研究していく。

他の質問・名寄コミュニティバスの実証運行見直しと交通弱者への対策について・市道の除排雪について・名寄市福祉及び社会教育関係団体活動推進補助金について



校区ごとの放課後の子供の居場所は



社会保障改悪の影響は

日本共産党 川村幸栄 議員

基準引下げの市民影響

問 8月から生活保護基準の引き下げが行われた。基準引き下げは生活保護制度利用者ばかりでなく、非課税世帯の住民税の限度額にも影響が出る。引き下げによる事業の影響、生活保護利用者への影響、保護申請状況について伺う。

答 生活保護基準引き下げによる影響は40事業で、利用者数は延べ1万8千人。就学援助費、高齢者の門口除雪サービス、市営住宅使用料は不利益をこうむらないように、2012年の基準を用いたい。保護利用者の30〜40歳の母子家庭では、1か月2〜5千円の削減となる。保護申請では、申請意思の確認をしたらすぐに申請書を手渡しできるようにしている。親族の扶養は申請の要件ではない。

問 栄養教諭の配置増を
本年第2次名寄市食育

推進計画ができ、教育現場では栄養教諭を中心に、正しい食事や望ましい食習慣を身に付けられるよう給食指導を行うとしている。現在、地場産品の導入、栄養指導や食文化等の知識を提供している。配置増の考えは。

答 学校給食センターの基準に準じ、2名の栄養教諭を配置。その他2名の臨時栄養士を置き、一般給食やアレルギー食を担当。

他の質問・介護保険制度見直しによる影響について



誰もが安心して使える介護保険制度を

一般質問



市政運営と執行責任

市民連合・凜風会 熊谷吉正 議員

首長権限と行財政運営

問 市民的話題となった

名寄駅横再開発で市と地元大型店、商工会議所との三者協定不履行状態と馴れ合い公設市場経営破たんと条例等に基づく指導点検責任 市民ホール建設にかかる入札不調問題など、結果責任が見えない。行財政運営に関し、市民に分かりやすい「健全な財政に関する条例」の制定を求める。

問

いつかきた道の秘密保護法 国民の知る権利、自由を

答 責任の重さを痛切に感じながら執行してきた。情勢変化に対応した予算や設計変更等、市民や議会にも迷惑かけたが手続きも経てきた。公設市場破たん問題は、情報収集、指導等反省もあるが、残念だ。債権者への責任は負えない。行財政運営は市民満足度を高めつつ、指摘の市独自の財政指標や条例も検討する。



再開を待つ公設市場

奪う「特定秘密保護法」強行採決に抗議する。市民生活、

社会活動の影響と認識を問う。

答 国際社会の中で必要と

思うが、多くの報道が伝えているように、秘密の中味もあまりに具体的内容が不透明だ。施行まで議論を注視し、市民生活の影響を見極める。

他の質問・今後の総合計画のあり方・地域自治区の具体化と支援・幌延への核廃棄物持ち込み反対と名寄市の認識と対応。

第4回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。(要望概要)

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

1. 森林吸収源対策の推進や木材利用の促進を図るため、安定的な財源の確保を。
2. 地域の実情に合わせて柔軟に対応できる予算の仕組みを継続し、必要な予算確保を。
3. 木造公共施設の整備や民間施設の木造化・木質化への支援の強化、木材利用ポイント制度の延長・充実、さらには木質バイオマスエネルギー利用を促進するための施策の充実を。
4. 林業生産の基盤となる路網整備の推進やエゾシカ森林被害対策の拡充・強化を。
5. 全国的な木材の安定供給に支障が生じないよう必要な予算措置を。
6. 津波対策等も踏まえた海岸防災林の整備を促進し、施設の老朽化対策など治山事業の推進を。
7. 国有林の公益的機能を発揮するための事業実施、森林・林業再生に向けた民有林との連携を。

過疎対策の積極的推進を求める意見書

1. 道路・橋梁の維持補修などに過疎対策事業債を適用する対象事業の拡大を。
2. 住民が安心・安全に暮らせるための生活基盤の確立を。
3. 高度情報通信基盤の整備を図り、道路網の整備促進を。
4. 観光及び地場産業の振興等、環境と特性を活かした産業を支援し、新たな雇用の創出を。
5. 人材の育成・活用等による総合的な集落対策の積極的な推進を。

積雪寒冷地域対策の推進を求める意見書

1. 道路除雪費、除雪機械購入費等に係る国庫支出総額の確保を。
2. 積雪寒冷地域の道路除雪に関する財政需要に配慮した特別交付税の配分を。
3. 空き家の除排雪等が適切に行われるよう総合的な法整備や財政支援を。
4. 雪冷熱をエネルギー源として活用した施設の整備促進に向けた財政支援を。



委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は11月28日に開催され、最初に教育部から 中学校パソコン教室情報機器の更新 名寄給食センター配送車の更新 市民文化センター改修工事にかかわる日程 名寄南小学校の暖房設備車両借上運行委託業務について、続いて総務部から 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結 コミュニティバス実証運行の見直しについて説明を受けました。

また、日本ハムファイターズの稲葉篤紀内野手と村田和哉外野手が2014年の名寄市応援大使に決定したとの報告がありました。

当日は、名寄市教育委員の皆様が傍聴いただき、委員会終了後に懇談をしました。



お互いの委員会を傍聴

市民福祉常任委員会

委員会は11月22日に開催され、次の事項について説明を受けました。福祉灯油支援事業は、今年の冬から恒常的に、歳末助け合い運動義援金配分対象世帯、障がい者施設入所者を対象に灯油券を配布することにしたほか、子ども子育て会議の実施状況と今後の予定、配食サービスのアンケート結果の報告を受け、また、民間による認知症対応型デイサービス事業所（定員10名/日）開設への道補助金の確定、市立総合病院の第2四半期の経営状況、国民健康保険事業では、北海道が作成した交付金算定表の誤りによる460万円の返還、市税収納率向上に向けたインターネット公表の実施と公表品の展示などについて説明がありました。



工事が進む市立総合病院

経済建設常任委員会

委員会は10月7日、11月13日の2回開催されましたが、10月7日の会議は「名寄市公設地方卸売市場の指定業者の破産にかかわって」が議題のため、私債権等の個人情報などの関係もあり、非公開の秘密会としました。

11月の会議では経済部関係で 公設地方卸売市場に係る現状報告 平成25年度産米出荷状況 地域おこし協力隊農業支援 交流自治体中学生親善野球大会について、建設水道部関係では 平成25年度道路除雪実施計画（試行含む） 市道の廃止、認定真勲別頭首工取水口シャッター対策の報告を受け、また平成

25年度一般会計等の補正予算の算の質疑をいたします。



積上げ除雪、カット排雪などで道路幅を確保する。

議会運営委員会

第3回定例会以降、4回の委員会を開催し、議会運営及び議長諮問事項について協議しました。

当委員会に対して議長からは、長期欠席議員の取り扱いなど5項目の諮問を受けており、各会派内協議を要請しながら10月10日及び11月11日に継続的な検討を重ねています。一方、11月27日及び12月11日の委員会では、第4回定例会の運営等について協議しました。この結果、同定例会会期を11月29日から12月13日までの15日間とし、この間の11日から3日間にわたる一般質問には13人が登壇しました。

また、上程議案は19件、追加議案1件、意見書は「森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書」他2件となりました。

定例会開会日前日に加藤市長から黒井議長に対し発言を求める要請があり、協議の結果、初日の全議案終了後に発言を認めることとしました。

きぼう



この一年に感謝して
まつもと しんいちろう
 名寄市風連町仲町138-8 松本 晋一郎

風連町の診療所へ赴任し、ふと気がつけば早くも一年。

不惑を間近に控え、時の流れに驚いています。

唯一の知人は所長だけでしたが、その人柄に惹かれ、また、この地域の自然に惹かれ、家族で移住してきました。夏場の暑さや冬場の雪の量には少々とまどいしましたが、ご近所の方々には何かと助けていただき、すっかり慣れました。

本業である医療に関してですが、市立総合病院をはじめとした近隣の先生方にはいつもお世話になり、安心して診療できる環境下にあります。さりげなく膨大な仕事をこなす診療所スタッフや、混雑していても私たちにねぎらいの言葉をかけてくださる患者さん方には、ただただ頭の下がる思いです。

最後に一言。田舎暮らしに賛成し、札幌から共に来てくれた妻、二人の息子、そしてチワワのトコちゃんに感謝。ありがとう！



X C少年団に育てられて
わたなべ たもつ
 名寄市西 11 条南 9 丁目 渡辺 有

私がクロスカントリースキー(略称「XC」)を始めて

から今年で10年目となりました。また、小・中・高と名寄XC少年団に所属しお世話になってきました。

いままで培ってきた技術を、次の世代につないでいくことや、もっと純粋にスキーを楽しむ人が増えてほしいと思い、今年から少年団に携わらせて頂いています。週に5日間、浅江島公園や健康の森で活動をしています。寒い日も雪の日もありますが、子どもたちが努力することは素晴らしいことだと思います。そしてこの経験を活かし、地元のスポーツ店に就職しました。社会人1年目でまだまだ未熟でありますので、これからも周囲の助けを受け、日々精進していきたいと思っています。今後とも、XC少年団の活動を通し、自分自身も成長し、地域社会に貢献できる社会人を目指して頑張ります。

迎春



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|------|----|------|-------|------|------|------|-----|------|------|-------|------|-----|-------|------|-----|-------|------|------|------|------|----------|
| 川村幸栄 | 日本共産党 | 高橋伸典 | 公明 | 上松直美 | 清風クラブ | 大石健二 | 山口祐司 | 新緑風会 | 黒井徹 | 山田典幸 | 川口京二 | 佐々木喜一 | 駒津喜一 | 東千春 | 市政クラブ | 佐藤英勝 | 奥村俊 | 日根野正敏 | 佐藤憲靖 | 竹中憲之 | 植松正一 | 熊谷吉正 | 市民連合・凜風会 |
|------|-------|------|----|------|-------|------|------|------|-----|------|------|-------|------|-----|-------|------|-----|-------|------|------|------|------|----------|

編集後記

明けましておめでとうございませう。旧年中は「議会だより」をご清覧いただき、深く感謝申し上げます。光陰矢の如し。平成23年の改選で発足した議会報特別委員会も早3年の歳月が過ぎました。すでお気づきのことは存じますが、7月1日発行の29号から誌面が一新されました。パンチ穴が左側から右側に移行し、文字も横書きから縦書きに組み替えられ、色づかいも単色から2色刷りにそれぞれ変更されています。この大幅な誌面刷新は、かねてから市民の皆様から寄せられていた誌面の改善を求める要望が形となつて実現しました。この議会だよりが、これからも市民の皆様と議会を結びかけ橋となるよう研さんしてまいります。

(健)

